

福島慶道

ZEN MASTER



■プロフィール
臨済宗東福寺派管長
1933年神戸市生まれ。14歳で岡山県の宝福寺に入門し、度出家。大谷大学大学院博士課程修了後、南禅寺専門道場にて修行。80年より東福寺専門道場の師匠を務め、91年4月に同派管長就任。89年からは米国の9大学でも毎年定期的に禅を指導。

福島 育て親の祖母が明るい人でしたよ。私は在家の出身で、14歳で岡山の寺に入門しましたが、この師匠がまた非常に明るいお人やつた。落語がお好きで、テレビのない頃にラジオで聞く。独りで聞くのが淋しいとみえて、弟子五人と一緒に聞かす。兄弟子がオチの前に笑うと「知つどつてもオチを聞いてから笑え!」と師匠自身が大笑いしたあとで、よく叱られたものです。厳しい師匠でしたが、本当に明るく愉快な方でした。

御所 小僧さんとしての修行はやはりきびしかったですか? 福島 そりやあもうスバルタ



明るさの秘訣は、 ビンタ仕込み?

本日の予定。午前、営業会議、午後は臨済宗の高僧に会う。なまぐさい数字から超俗へ、我ながら気持ちの切り替えがままならぬ。禅宗といえば座禅か禅問答。しかし、今さら修行でもあるまい。一念発起はぬきにし、悟れる方法はないものか。

いつそ煩惱の限りを尽くし、人間・煩惱博覧会と化すのはどうや? 福島管長の住まう普門院に続く通天橋をわたるうち、頭に渦巻く不敬な策とはうらはらに、心はあこがれに似たすがすがしさを覚え始める。老師によれば、これもお寺の効用のひとつとか。

明るい禅を世界に広める。 エゴを超えた輝く笑顔の男。

ひと

御所 老師は初対面の時から親近感をもって甘えなくなるお人柄ですが、生まれつきのご性格ですか?

福島 育て親の祖母が明るい人だった影響で、性格は土台明るいですよ。私は在家の出身で、14歳で岡山の寺に入門しましたが、この師匠がまた非常に明るいお人やつた。落語がお好きで、テレビのない頃にラジオで聞く。独りで聞くのが淋しいとみえて、弟子五人と一緒に聞かす。兄弟子がオチの前に笑うと「知つどつてもオチを聞いてから笑え!」と師匠自身が大笑いしたあとで、よく叱られたものです。厳しい師匠でしたが、本当に明るく愉快な方でした。

御所 小僧さんとしての修行はやはりきびしかったですか?

福島 そりやあもうスバルタ

馬鹿者か、まだわからんのか。二日前本堂裏の廊下で、おまえはつちを歩いておつた

「障子の側です」

「そうやろ。年寄りの師匠に危ない方を歩かせるとは何事か」

御所 西洋式のマナーですね。

禪の教えたからといってわれわれとまったく無縁でもない。福島 宗教はどこまでも人間のためにあるもので、人が気軽に宗教的になる雰囲気づくりが、衣を着ておる我々僧侶の務めです。痛快な坊主も多いですよ。

「仏」の言葉を使わずに、 禪マスター

御所 アメリカ人にとってはまったく新しい宗教・思想としてブームから定着したようですね。老師のよく使われる「禅マスター」という言い方もいい。一般にお偉い方は、より偉そうな肩書きをつけたがりますが、逆に身近な響きで。

福島 日本人は漢字文化を通じて仏教と接してきたせいで、どうも仏教を難しく説きすぎると思う。また仏教の使う用語にはいさか古いイメージのものが多い。その典型が「仏」です。現代語訳は「よりよき人格者」くらいでしょ。仏教の教えは「仏になろう」ということですから、「仏」ぬきには語れませんが、若い者は「仏」言うただけで横を向きますよ。

御所 それは、あります。

福島 飛行機の中で30過ぎの男から「和尚さん、禅宗ですか」「そうや」「うちも禅宗です」と話しかけられました。「ところで檀那寺には行きますか」と尋ねると、「とんでもない。僕のところは両親健在ですから」(笑)。

御所 死んで仏になると思うんですね。

福島 そういう考えも二次的にあります。仏教は本来「生きる人間が生きているうちに仏になろう」という教えです。だからこそ、これだけ続いてきた

御所 東福寺のオーブンさんは老師の性格そのままなんでしょうが、アメリカとの関係も影響があるのでは? 40歳でカリフォルニアのクレアモント大学に一年間禪の指導に行かれ、89年からは毎年渡米されるそうですね。

福島 おかげさにいうと73年に一年間アメリカに滞在して世界観・人間観が少々変わりました。アメリカ人のもつ底抜けの陽気さ、だれどもすぐ親しくなる気安さなど、吸収するものが多かつたと思います。



人間は反宗教的な存在なんや

福島 アメリカの学生は性の問題もフランクに質問してきますよ。来年は「禅とミニスカート」の題で講演しようと冗談を言うと大喜びで足を踏み鳴らす(笑)。

福島 新宗教も新々宗教もまず現世利益から説きますから、一般の人がありやすいのですが、「迷わしたらいかん、ウソついたらい

福島 私は大丈夫です。大学時代には多少恋愛経験もありますから……(笑)

福島 修行時代、檀家の十二段屋さんでお経を上げた後、シャブシャブが振る舞われた。

福島 うまかつたですね。ところが座禅の前に、何べんうがいをしても肉臭さがとれない。それだけではない。その後の座禅のときに四年以上も前に別れて心の中で整理すみの元ガールフレンドが出てきたんですね。三年目の修行に入っていますが、何たることかと大いに懺悔しましたよ。人間とは何と煩惱の多き身かとしみじみ思いました。

福島 今は迷われることはありませんか?

福島 それはありません。あつたらおかしい。

と言ふ人もいますが、既成教団は逆にあの積極性には学ぶべきですね。世間といつしょに悩み、苦しみ、かつ喜ぶのが、これから宗教のあり方でしょう。

御所 葬式と法事だけがお寺の役目やない。

古い殻をどんどん脱ぐべきや……と。

福島 すくなくとも教えを現代風にわかりやすく説く努力が必要でしょう。それも、たまたま誰で卒くだけじゃ足らん。スパイイスを効かして、スプーンでくつて、口までもつていかんと食べてくれん人もようけおりますから。

御所 「食ってみようか」という氣を起こせる御所「食ってみようか」という氣を起こせる

ところまでやつてくれれば有難いですね。福島 いま仏教が世界に向かって言うべきことは「無我」＝「NO EGO」の考え方ですね。近代は自我の確立から出発した。そして現代に至つてトインビーがいみじくも言つたように、「現代人はなんでも知つてゐる。しかし自分自身を知らない」のような自己喪失の悩みをおちいつてしまつた。幸い仏教にはそれに対して「無我の教え」という明解な答えをもつてゐる。禅も含んで日本仏教は、今この「無我の教え」を世界に提言すべきだと



御所光一郎
(御所氏へのメッセージ)

福島慶道氏より
「まずは申し上げますと、一見たいそうファッショナブルな方ですが、衣を着ても意外に似合おう人だと思います。今日の対談でよくわかりましたが、「心」をテーマに語り合える人だと思

ました」